

## ビデオ受像機

### 取扱説明書

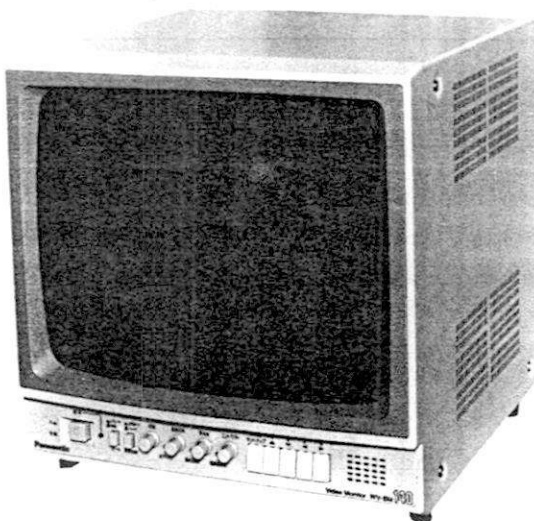
工事説明付き

品番 WV-BM140

この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なお読みください。

保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

保証書別添付



上手に使うと上手に節電

### もくじ

製品概要	2
付属品をご確認ください	2
安全上のご注意	3
<hr/>	
各部の名前と働き	8
■前面	8
■後面	9
操作のしかた	10
上手な使いかた	11
設定のしかた	14
別売品のご紹介	19
故障とありましたら	19
<hr/>	
接続の前に	20
接続のしかた	20
システム接続例	24
■ビデオ受像機を遠隔操作する場合	24
■タイムラプスVTRと組み合わせる場合	26
<hr/>	
仕様	27
保証とアフターサービス	裏表紙

このたびは、ビデオ受像機をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

## 商品概要

本機は、テックカメラ用の14形ビデオ受像機です。カメラを4台まで接続できます。

- ・カメラ接続アダプター WV-AD110 (別売品)を使用することにより、さらにカメラを増設することができます。(カメラ増設アダプター接続台数は最大2台までです。)
- ・各テレビカメラの画像を手動または自動(設定メニューで約1秒~30秒までの間で選択可能)で切り換えることができます。
- ・インターホンやセンサーからの信号で画面を切り換えることができます。
- ・センサー入力後、約60秒で自動切換モードに自動復帰します。  
(設定メニューの自動復帰「入」状態のとき)
- ・VTRと接続でき、ビデオモニターとして使用できます。
- ・映像スタンバイ機能により、画像を消しておくこともできます。
- ・接続されていないカメラをスキップ(飛びこし)するオートスキップ回路が内蔵されています。
- ・増設のビデオ受像機やシーケンシャルスイッチャーとの画面の自動切換のタイミングを合わせることができます。
- ・映像出力端子付きのため、他のビデオ受像機を接続できます。
- ・マイクロホン付カメラを接続することにより、カメラ付近の音を聞くことができます。
- ・設定メニュー(オンスクリーン)で以下の項目を設定できます。
  - ・カメラIDの表示/非表示
  - ・アラーム音の入/切
  - ・カメラIDの設定
  - ・アラーム信号出力時間の選択
  - ・音声切換の選択
  - ・自動復帰の入/切
  - ・切換タイミングの選択
  - ・マニュアルスキップの設定
  - ・自動切換時間の選択

## 付属品をご確認ください



取扱説明書(本書).....	1
保証書.....	1

# 安全上のご注意




必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。







■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 <b>警告</b>	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 <b>注意</b>	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただきたい「強制」内容です。

## 警告

<b>工事は販売店に 依頼する</b>  工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。 ●必ず販売店に依頼してください。	<b>異物を入れない</b>  水や金属が内部にはいると、火災や感電の原因となります。 禁止 ●ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。	<b>分解しない、 改造しない</b>  内部に高電圧の部分があります。火災や感電の原因となります。 分解禁止 ●ヒューズの交換、修理や点検は、販売店にご連絡ください。
<b>異常があるときは、 すぐ使用をやめる</b>  煙が出る、臭いがするなど、そのまま使用すると火災の原因となります。 ●ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。	<b>重量に耐える場所に 取り付ける</b>  落下や転倒などでけがの原因となります。 禁止 ●取付場所を補強してください。	<b>濡れた手で電源プラグ の抜き差しはしない</b>  感電の原因となります。 禁止

はじめて

# 安全上のご注意

必ずお守りください

## 電源コードは、必ず プラグ本体を持って抜く



電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災や感電の原因となります。

## 電源プラグは根元まで 確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。

- 傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

## 電源プラグのほこり等 は定期的にとる



プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因となります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

## 電源コード・電源プラグを破損するようなことは しない



禁止

（ 傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない ）

傷んだまま使用すると感電・ショート・火災の原因となります。

- コードやプラグの修理は販売店にご相談ください。

## コンセントや配線器具の定格 を越える使いかたや、交流 100V以外での使用はしない



禁止

たこ足配線等で、定格を越えると発熱による火災の原因となります。

## 後面パネルを外さない



高圧注意

内部に高電圧の部分があります。触ると感電の原因となります。

- 内部の修理や点検は、販売店にご連絡ください。

## 水を入れない、 濡らさない



禁止

火災や感電の原因となります。

- 水などが内部に入ったら、電源プラグを抜き、販売店にご連絡ください。

## 上や近くに水の入った 物を置かない



禁止

こぼれた水が機器内に入ると、火災や感電の原因となります。

- すぐに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

## ⚠ 注意

10度以上の傾斜のある  
場所には設置しない



落下などで、けがの  
原因となります。

禁 止

傾斜のある場所に設置する  
ときは、滑りどめをする



落下などで、けがの  
原因となります。

禁 止

湿気やほこりの多い  
場所に設置しない



火災や感電の原因と  
なります。

禁 止

放熱口をふさがない



内部に熱がこもり、  
火災の原因となりま  
す。

禁 止

落とさない、強い衝撃を  
与えない



けがや火災の原因と  
なります。

禁 止

●販売店にご連絡ください。

可燃性雰囲気中で  
使用しない



爆発し、けがの原因  
となります。

禁 止

踏み台や腰掛けに  
しない



けがの原因となりま  
す。

禁 止

持ち運ぶときはコード類を  
すべて抜く



コード類に足をか  
け、転倒・けがの原  
因となります。

お手入れのときは  
電源を切る





感電の原因となりま  
す。

# 安全上のご注意

必ずお守りください

## ■設置について

 **警告**、 **注意** に記載されている内容とともに、以下の項目をお守りください。

- 直射日光の当たる場所や、熱器具の近く、温風吹き出し口に設置しないでください。
- 周囲温度は、-10℃～+50℃、湿度は90%以下でお使いください。
- 車載用など振動の激しい場所には、設置しないでください。
- 本機を近接して設置する場合、15 cm以上離してください。相互に干渉しあい、画面に縞が入ることを防ぐためです。
- 収納台や棚に置く場合、後面のコネクターやケーブルに無理な力がかからないように奥行きを十分とってください。また、上面、側面を壁面から5 cm以上離してください。
- 本機を上下に重ねて置かないでください。
- 本機はラックマウントできません。

## ■配線のしかたについて

- 使用するケーブルの太さと長さを確認してください。  
同軸ケーブルの最大距離は5C-2Vで500 m、3C-2Vで200 mです。  
これを超えると映像が乱れたり、雑音が入ったりします。
- 強度上の問題で、3C-2Vの同軸ケーブルを配管配線や、空中電線に使用しないでください。  
断線する恐れがあります。
- 以下に示すような場所に設置(配線)すると映像が曲がったり、雑音が入ったりすることがあります。
  - ①電灯線に近づけて配線している。このような場合、配線の位置や本機の位置を変更してください。
  - ②テレビやラジオの送信アンテナ、モーターやトランスなどの近くで使用している(強い電界・磁界の近くで使用している)。このような場所ではカメラケーブルを専用の薄鋼電線管にケーブルを通して設置してください。2台以上のビデオ受像機をお使いのときはビデオ受像機ごとに薄鋼電線管を設けてください。

## ■静電気について

ブラウン管の表面に手を触れると、ごく弱い電気を感じる場合があります。これは、静電気を帯びているためで、異常ではありません。

## ■お手入れについて

お願い

- お手入れは、安全のため差し込みプラグをコンセントから抜いて、行ってください。  
感電の原因となることがあります。
- ベンジン・シンナーなど揮発性のものをかけたり、使用したりしないでください。  
ケースが変形したり、変色したりすることがあります。

### ●日常のお手入れ

- 乾いた布で拭いてください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

### ●汚れがひどいとき

- うすめた台所用洗剤をやわらかい布にしみこませ、よくしぼり、軽く拭いてください。  
そのあと、乾拭きしてください。

## ■調整つまみについて

以下に示す調整つまみは、あらかじめ工場出荷時に調整されています。  
調整が必要な場合は、販売店にご相談ください。

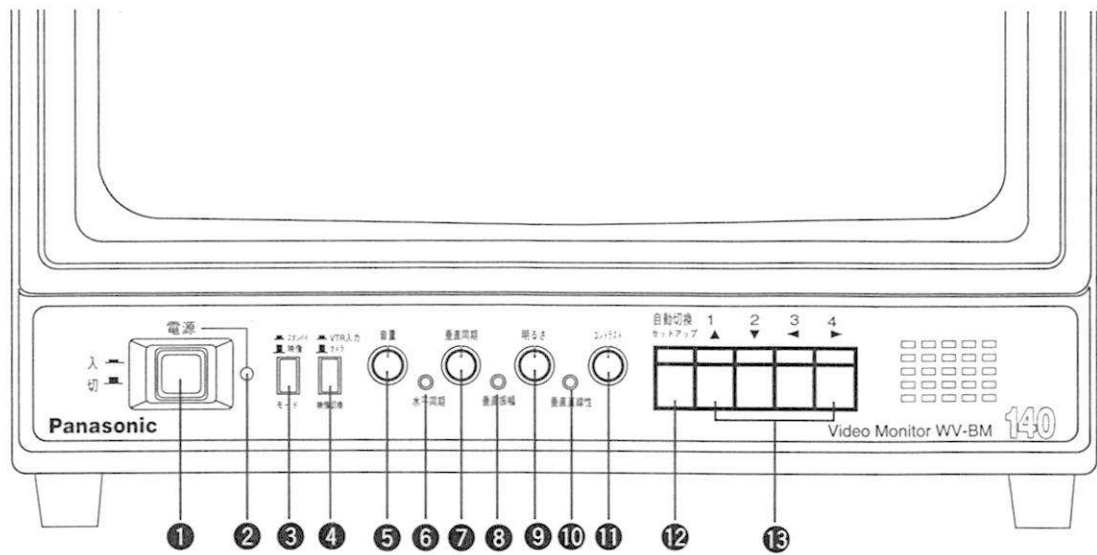
前面パネル内

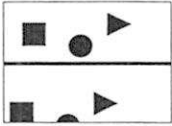
- 水平同期調整ボリューム
- 垂直振幅調整ボリューム
- 垂直直線性調整ボリューム


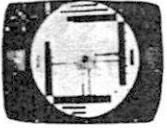
はじめに

# 各部の名前と働き

## ■前面



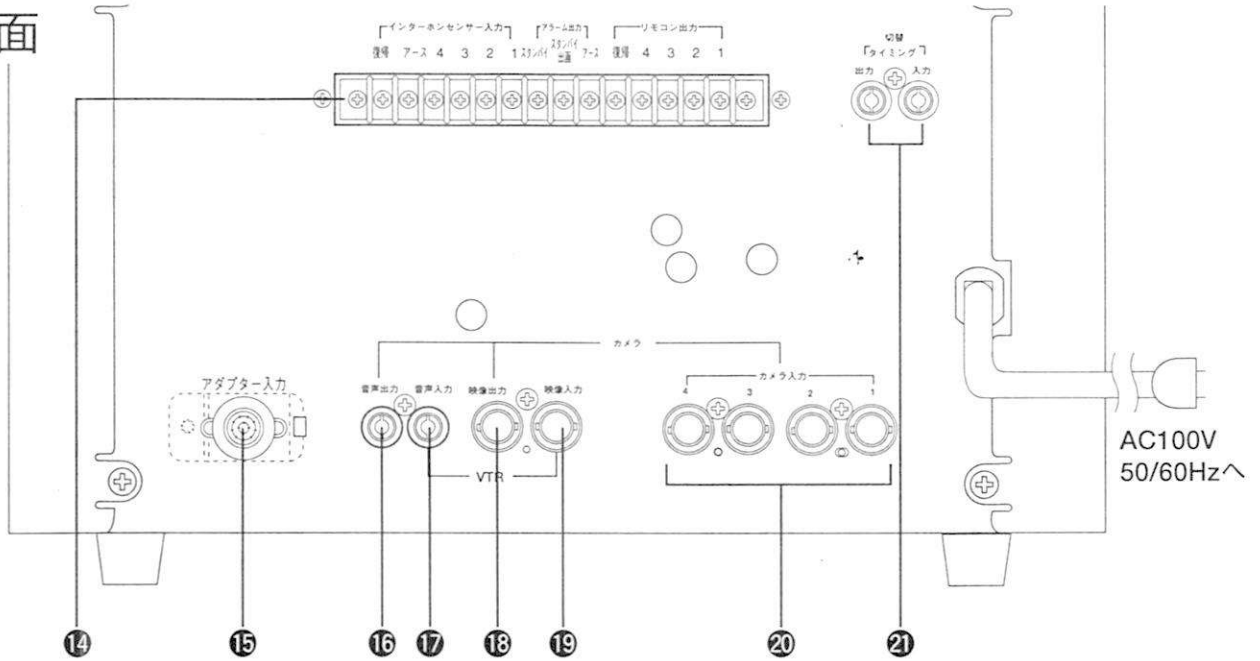
- ①電源スイッチ[切 ■ / 入]
- ②電源表示 [電源] (赤)  
電源スイッチ①を「入」にすると、点灯します。
- ③モード切換スイッチ[モード スタンバイ ■ / 映像 ■]  
「スタンバイ」の位置にすると、自動切換している画面を消しておくことができます。この状態でもカメラ選択スイッチ⑬を押せばカメラ画像を選択できます。再び画面を消すときは、自動切換スイッチ⑫を押します。
- ④映像切換スイッチ[映像切換 VTR入力 ■ / カメラ ■]  
「カメラ」の位置にするとカメラ画像をモニターすることができます。また、「VTR入力」の位置にするとVTR再生用モニターなどとして使用できます。
- ⑤音量調整つまみ[音量]  
時計方向に回すと音が大きくなります。適度な音量でお聞きください。
- ⑥水平同期調整ボリューム[水平同期]  
斜めの黒い縞が現れたときに調整します。
- ⑦垂直同期調整つまみ[垂直同期]  
画面の上部が二重に映ったり画面が上下に流れたりするときに、調整します。  

- ⑧垂直振幅調整ボリューム[垂直振幅]  
画像が上下に大きくなったときに調整します。

- ⑨明るさ調整つまみ[明るさ]  
画像が明るかったり暗かったりしたときに調整します。  

- ⑩垂直直線性調整ボリューム [垂直直線性]  
画像が上だけ(または下だけ)伸びていたり、縮んでいたりしたときに調整します。
- ⑪コントラスト調整つまみ [コントラスト]  
画像の明暗比を調整します。  

- ⑫自動切換/設定スイッチ [自動切換/セットアップ]  
・カメラの画像が順次切り換えられます。  
・このスイッチを2秒以上押し続けると設定メニューが表示されます。(14ページ参照)  
(映像切換スイッチ④が「カメラ」のとき)
- ⑬カメラ選択/方向スイッチ [1/▲、2/▼、3/◀、4/▶]  
・手動でカメラを選択するときに使います。  
・設定メニューを表示したとき、設定項目を選択するときに使います。

⑥、⑧、⑩は、出荷時にあらかじめ調整されています。調整が必要な場合は、販売店にご相談ください。

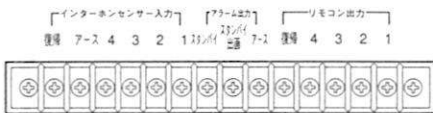


## ■後面



### ⑭外部制御接続端子

[インターホン/センサー入力、アラーム出力、リモコン出力]  
接続のしかたについては20～23ページをご参照ください。



- ・インターホン/センサー入力  
各カメラの選択が外部から制御できます。1,2,3,4のいずれかをアースと短絡することにより制御できます。
- ・アラーム出力  
外部制御によりカメラを選択したときにアラーム信号(メイク接点)が外部に出ます。  
③スタンバイ  
映像スタンバイ時のみアラーム信号が出ます。  
⑥スタンバイ/出画  
モード切換スイッチ③の位置にかかわらずアラーム信号が出ます。
- ・リモコン出力、復帰出力  
外部制御、自動または手動によりカメラを選択したときにリモコン出力および復帰出力(メイク接点)が外部に出ます。
- ・復帰入力  
タイムラプスVTRなどからの復帰信号により自動切換に戻ります。
- ⑮増設アダプター入力端子[アダプター入力]  
テレビカメラを増設する場合接続します。カメラ増設

アダプター WV-AD110(別売品)を1台使用することによりカメラを3台ずつ増設できます。(カメラ増設アダプターは最大2台までです)

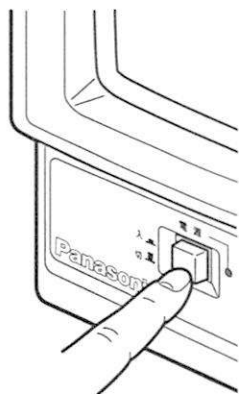
- ⑯音声出力端子[カメラ 音声出力]  
マイクロホン付きのカメラの音をVTRに録音する場合、接続します。
- ⑰音声入力端子[VTR 音声入力]  
VTRの音声出力を接続し、前面の映像切換スイッチ④を「VTR入力」の位置にすると、VTR再生音声を聞くことができます。
- ⑱映像出力端子[カメラ 映像出力]  
ビデオ受像機を増設する場合接続します。ただし、この端子には映像スタンバイ時にも自動切換された映像が出力されます。
- ⑲映像入力端子[VTR 映像入力]  
VTRの映像出力を接続し、前面の映像切換スイッチ④を「VTR入力」の位置にするとVTR再生画像が見られます。
- ⑳カメラ入力端子[カメラ入力 1/2/3/4]  
テレビカメラの入力端子です。カメラの電源などがこの端子からカメラへ送られ、映像信号がカメラからこの端子に入ります。
- ㉑切換タイミング入力/出力端子  
[切換タイミング、出力/入力]  
・ビデオ受像機を増設するときやタイムラプスVTRと組み合わせて使うときに接続します。  
・設定メニューで切換タイミングを内部/外部に選択できます。

接続のしかた

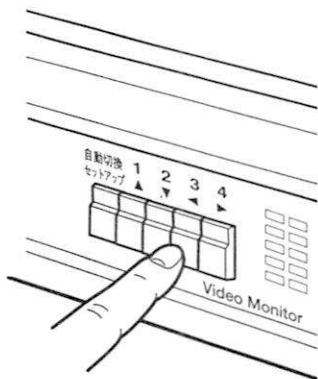
# 操作のしかた

## カメラを選択して見るとき

1. 電源を入れます。



2. カメラ選択スイッチを押します。



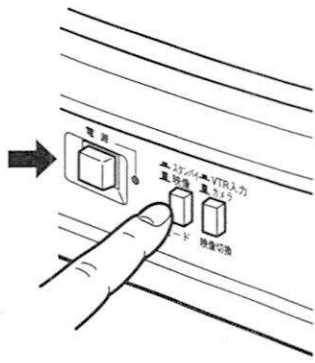
1. 電源を入れた後、数秒間は出画しなかったり、映像出力に正常な画像が出なかったりしますが故障ではありません。
2. 電源を入れると自動的に自動切替になります。
3. 自動切替をしているときも、カメラ選択スイッチを押せば望みのカメラを見ることができます。自動切替にするときは自動切替スイッチを押してください。
4. 映像スタンバイ（画面が消えている）になってもカメラ選択スイッチを押せば望みのカメラを見ることができます。
5. カメラが接続されていないチャンネルを選択した場合、後面の映像出力端子からノイズ成分をもった画が出力されますが、故障ではありません。

## 自動切替で見るとき（カメラが2台以上のときのみ）

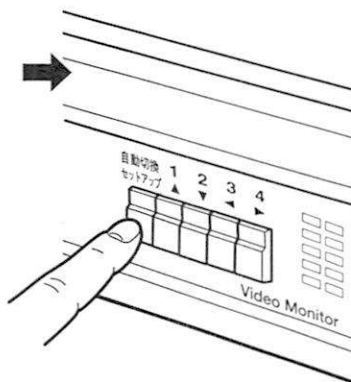
1. 電源を入れます。



2. モード切替スイッチを「映像」にします。



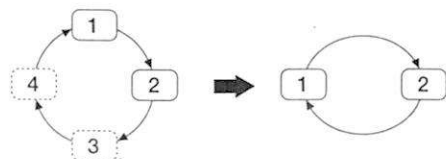
3. 自動切替スイッチを押します。



自動切替時間は設定メニューで選択できます。  
(18ページ)

### スキップ機能

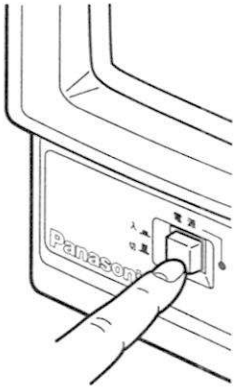
- カメラが2台または3台しか接続されていないときは、カメラが接続されていない入力を自動的にスキップ（飛びこし）し自動切り換えします。右図の場合カメラ3、4がスキップされます。（オートスキップ回路内蔵）



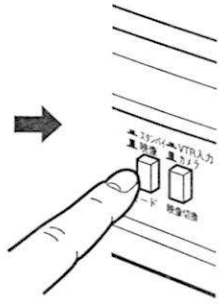
モード切替スイッチが映像の位置になっていないと映像は出ません。

## 画面を出さないでおき、必要なときにすぐ見たいとき（スタンバイ機能）

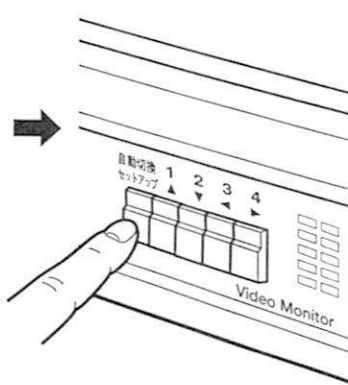
1. 電源を入れます。



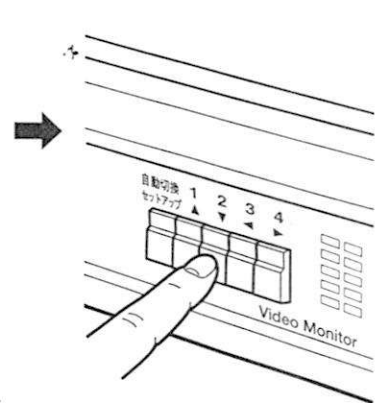
2. モード切換スイッチを  
押して「スタンバイ」  
にします。



3. 自動切換スイッチを押  
します。



4. カメラ画像を見たいと  
きはカメラ選択スイッ  
チを押してください。



### スタンバイ機能

- VTRへの録画をしながら、節電のため画面を消しておくことができます。

さらに、もう一度画面を消すときは、自動切換スイッチを押してください。

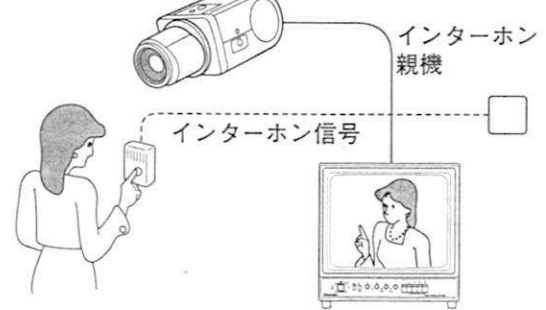
## 上手な使いかた

### インターホンやセンサーと接続できます。

テルックシステムとインターホンなどを組み合わせて使いますと、インターホンの動作によりビデオ受像機の画面が切り換わります。

1. 2カ所から同時に信号が入ったときは、接続番号の若い方が優先します。
2. インターホンやセンサーによっては組み合わせのできない場合があります。(詳しくは22、23ページを参照してください。)

テレビカメラ



### ブザーなどを接続すると外部から制御信号が入ったとき警報が出せます。

インターホンやセンサーと組み合わせて使ったとき、信号が入ると画面が切り換わりますが、このとき外部にアラーム信号（メイク接点）が出ます。この信号を使ってブザーなどを鳴らすことができます。

#### アラーム信号について

- アラーム信号端子は
  - (a)映像スタンバイ時のみ信号が出る端子
  - (b)スタンバイ、出画にかかわらず信号が出る端子の2種類があります。
- アラーム信号の出る時間は設定メニューで1、5、10、20、30、40、50、60秒のいずれかに選択できます(18ページ)。

テレビカメラ



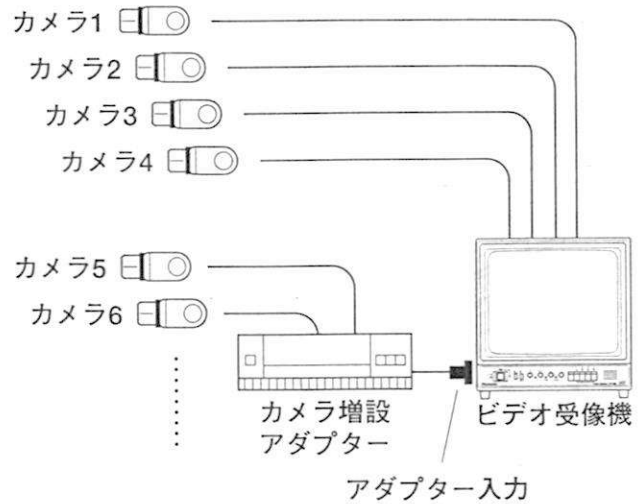
# 上手な使いかた

## テレビカメラを5台以上使うとき

本機を使用したテルックシステムはカメラを4台まで接続できます。それ以上のカメラを使う場合はカメラ増設アダプターWV-AD110（別売）が必要です。

### お願い

カメラ増設アダプターは、ビデオ受像機側にカメラを4台接続した状態で使用してください。カメラ未接続の場合、誤動作する場合があります。

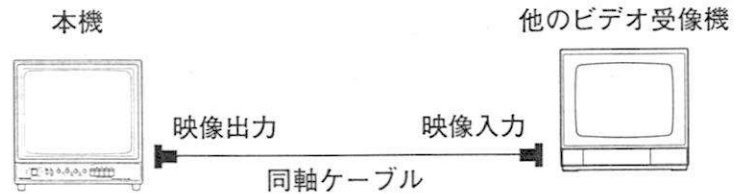


## 増設のビデオ受像機を接続できます。

### ●他のビデオ受像機を接続できます。

本機には映像出力端子があります。他のビデオ受像機に接続して他の場所でモニターすることができます。

スタンバイ状態時も増設したビデオ受像機には、映像が表示されます。

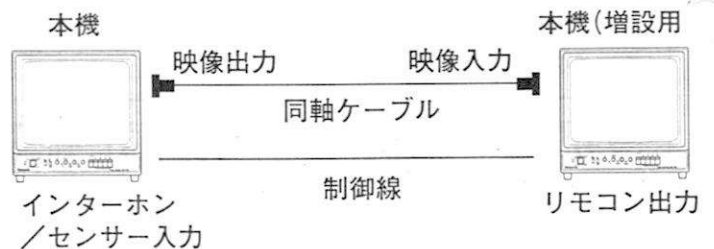


### ●ビデオ受像機を増設すると遠隔操作をすることができます。

本機のインターホン／センサー入力端子に本機（増設用）のリモコン出力を接続して他の場所で制御することができます。

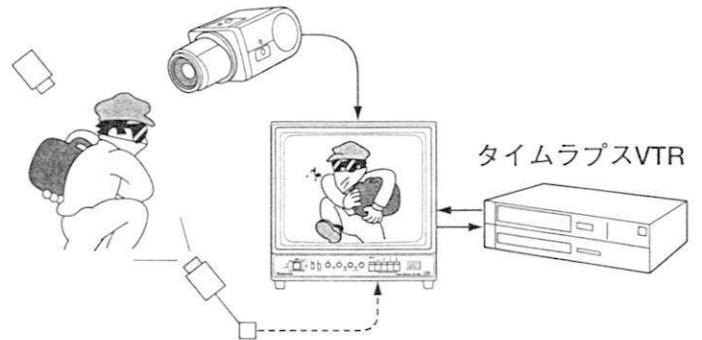
### 重要

ビデオ受像機をさらに増設することはできません。（2台まで）



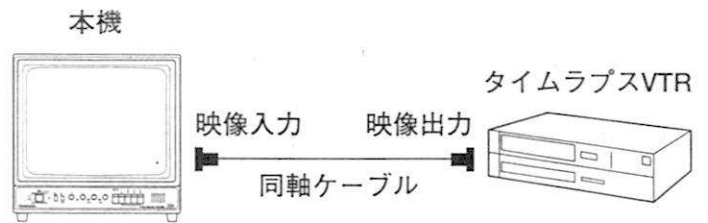
## タイムラプスVTRに接続して監視システムが組めます

テルックシステムとタイムラプスVTRを組み合わせますとタイムラプスVTRの機能を有効に活用できます。平常使用時はタイムラプスVTRは、480時間などの長時間録画状態になりますが、センサーなどから信号が入ると、タイムラプスVTRはアラーム状態になり、信号が入ったカメラの映像だけが録画されます。一定の時間がたつと、タイムラプスVTRは長時間録画の状態に戻ります。(アラーム出力をタイムラプスVTRに接続したときのみ)



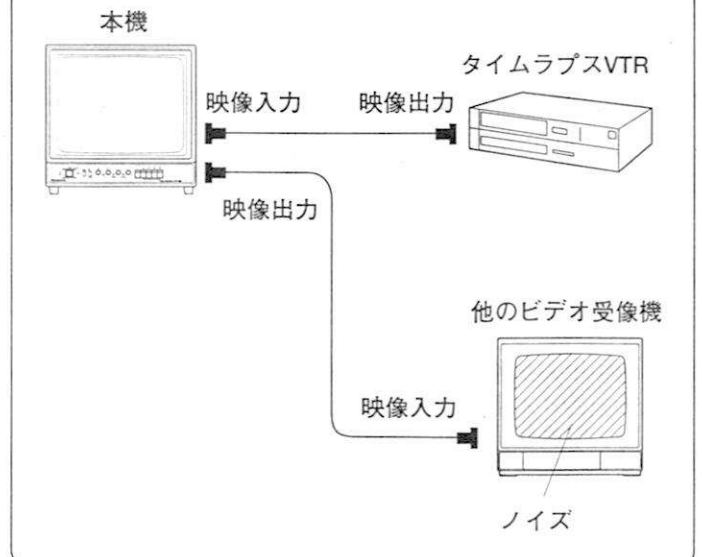
## VTRの再生画像を見ることができます。

本機には映像入力端子があります。VTRの映像出力に接続して再生画像をモニターすることができます。映像切換スイッチを「VTR入力」の位置にします。



### お願い

VTRの再生画像をモニターしているとき、映像出力にノイズが現われますので、このような使い方はさけてください。



# 設定のしかた

## 設定メニュー画面

### 設定の前に

- カメラや接続する機器、アラームなどの接続を確かめてください（20～26ページをご覧ください）。カメラを接続していないと設定メニューは表示できません。
- 本機および接続する機器の電源を入れてください。

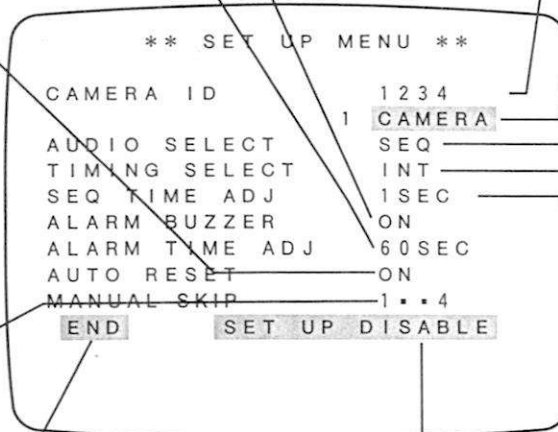
アラーム音の入/切 18ページ  
本機にアラーム信号が入力されたとき、本機に内蔵されているブザーを鳴らすかどうか選択できます。

アラーム時間の選択 18ページ  
アラーム信号を出力する時間を選択できます。

自動復帰の入/切の設定 18ページ  
本機にアラーム信号が入力されたとき自動的にアラーム信号入力前の状態に復帰するかどうかを選択できます。

マニュアルスキップの設定 19ページ  
自動切換時、カメラが接続されていないチャンネルだけでなく、接続されているチャンネルもスキップ（飛びこし）することができます。

設定メニュー終了 15ページ  
カーソルを移動し、設定スイッチを押すと設定メニューを終了し、映像画面に戻ります。



カメラIDの表示/非表示 16ページ  
カメラIDを画面に表示する/しないを選択できます。

カメラIDの設定 16ページ  
カタカナ・英字・数字で最大8文字のカメラIDを設定できます。

カメラ音声の選択 17ページ  
カメラ音声を自動切換（シーケンス切換）または固定にできます。

切換タイミングの選択 17ページ  
映像と音声を切り換えるタイミングを内部タイマーまたは外部からの切換信号いずれかに選択できます。

自動切換時間の選択 18ページ  
自動切換で映像を確認するときのチャンネル切換時間を設定できます。

設定内容を変更するかしないかの選択 15ページ  
DISABLE：設定不可能  
ENABLE：設定可能

### 重要

DISABLE(設定不可能)が表示されているときは、設定内容を変更できません。これは、誤操作によって設定内容を更新されるのを防ぐためです。

## 設定手順

### 1. 工場出荷時の状態にリセットする

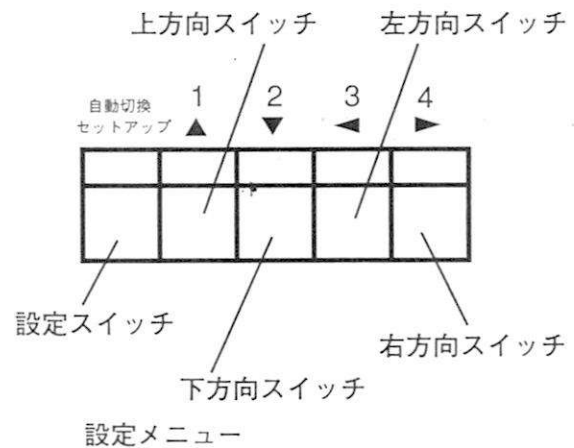
設定メニューに入る前に、必ず下記の手順に従って全ての項目を工場出荷時の設定に戻してください。

- ①次のようにスイッチを設定し、設定メニューが表示されていないことを確認してください。

モード切換スイッチ：映像側

映像切換スイッチ：カメラ側

- ②電源スイッチを「切」にしてください。
- ③設定スイッチと右方向スイッチ(▶)を同時に押しながら、電源スイッチを「入」にしてください。全ての項目が工場出荷時の設定にリセットされます。



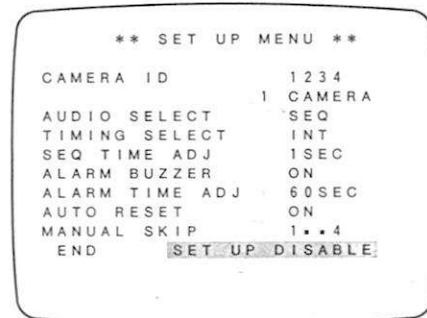
### 2. 設定メニューに入る／映像画面に戻る

- カメラ選択スイッチ(1~4いずれか)を押して、カメラが接続されているチャンネルに画面を固定してください。
- 設定スイッチを2秒以上押し続けると、設定メニューがオンスクリーンで表示され、設定内容を確認できます。
- 設定項目を変更する必要がない、または変更が終了したときはカーソルを“END”の位置に移動し、設定スイッチを押します。カメラ映像画面に戻ります。

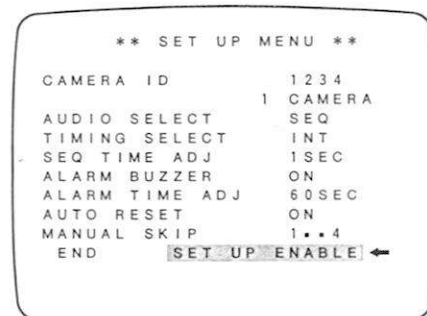


### 3. 設定メニューの実行

- ①設定メニューを実行(設定内容の変更)するには、設定メニューを表示したあと上方方向スイッチ(▲)または下方方向スイッチ(▼)でカーソルを一番下の行に移動します。
- ②次に、右方向スイッチ(▶)または左方向スイッチ(◀)でカーソルを“DISABLE”(設定不可能)の表示の上に移ります。
- ③設定スイッチを押すと“ENABLE”(設定可能)の表示に変わり、設定内容を変更できるようになります。
- ④“END”を経由して変更する項目の位置にカーソルを移動し、設定項目を変更します。



設定スイッチを押す



#### 重要

データを更新してから(例：オンからオフ)カーソルを次の項目に移動すると、最後に入力したデータがメモリー(EEPROM)に書き込まれます。書き込まれたデータは、電源を切っても、次にデータが書き込まれるまで保存されます。

# 操作のしかた

## 設定手順

### ■カメラIDの設定/表示/非表示(CAMERA ID)

#### ●カメラIDの表示/非表示

①カーソルを“CAMERA ID”の位置に移動し、左方向スイッチ(◀)と右方向スイッチ(▶)で設定するカメラを選びます。

カーソルは、カメラを接続しているチャンネルのみ移動します。

②設定スイッチで、ONとOFFを切り換えます。

ON : カメラID(1, 2, 3, 4)を表示

OFF : ●を表示

#### ●カメラIDの内容変更

①カメラIDの内容変更は、2段目で行います。1段目で、設定するカメラを選択した後、下方向スイッチ(▼)で2段目に移ります。

②設定スイッチを押します。カメラIDの内容を変更できます。

③上方向スイッチ(▲)、下方向スイッチ(▼)で文字の選択ができます。

また、左方向スイッチ(◀)、右方向スイッチ(▶)で文字の桁を変更できます。カメラIDで使用できる文字は下表のとおりです。

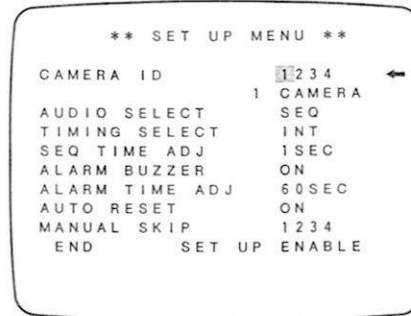
④文字の設定が終了したら、設定スイッチを押します。

⑤上方向スイッチ(▲)で、1段目に移るとカメラIDが本体メモリに登録されます。

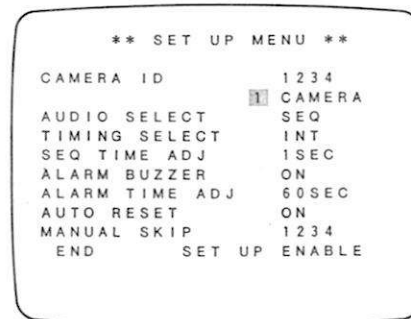
#### 重要

1段目に移らずに他のカメラの設定を行うと、メモリに登録されません。

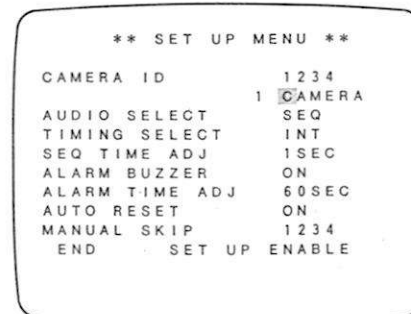
←下方向スイッチ(▼) 上方向スイッチ(▲)→															
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	A	B	C	
D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	
S	T	U	V	W	X	Y	Z	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	
ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	
ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	マ	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	
ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ヲ	ン	アイ	ウエ	オツ				
ャ	ュ	ョ	°	・	”	#	'	(	)	*	+	,	-	.	
/ ← = → · (ブランク)															



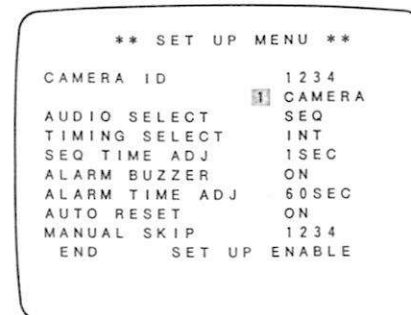
下方向スイッチを押す



設定スイッチを押す



文字設定終了後、設定スイッチを押す

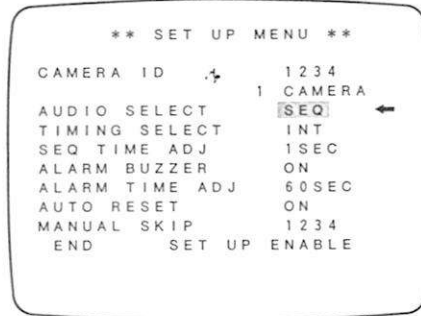




## 設定手順

### ■音声切換の選択(AUDIO SELECT)

- カーソルを“AUDIO SELECT”の位置に移動し、左方向スイッチ(◀)、右方向スイッチ(▶)で自動切換(SEQ)、固定(1,2,3,4)を切り換えます。
- 自動切換(SEQ)時は、映像の切り換えと合わせて音声も切り換わります。
- 固定(1,2,3,4)時は、設定されたチャンネルに音声固定されます。

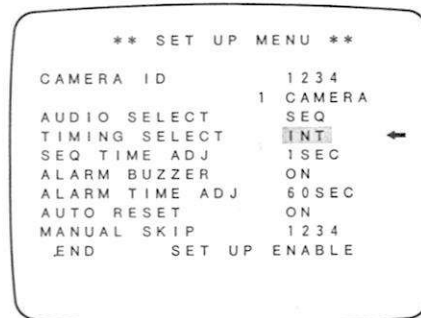


### ■切換タイミングの選択(TIMING SELECT)

カーソルを“TIMING SELECT”の位置に移動し左方向スイッチ(◀)、右方向スイッチ(▶)で切換タイミングを設定します。

INT：内部タイミング

EXT：外部タイミング（自動切換タイミングを他のビデオ受像機やタイムラプスVTRなどから入力する時には“EXT”にします）



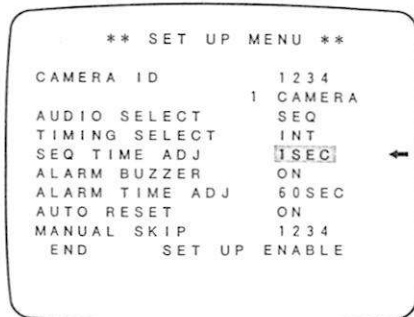
# 設定のしかた

## 設定手順

### ■自動切換時間の選択(SEQ TIME ADJ)

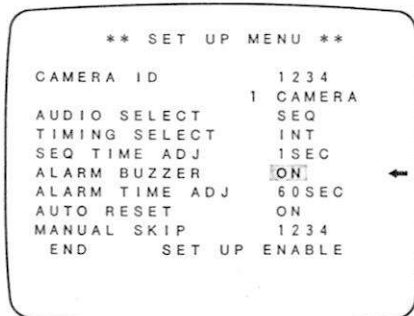
自動切換時、映像を切り換える時間を選択します。

- カーソルを“SEQ TIME ADJ”の位置に移動し、左方向スイッチ(◀)と右方向スイッチ(▶)で切換時間を選択します。
- 切換時間は、約1,2,3,4,5,6,7,8,9,10,15,20,25,30秒から選択できます。



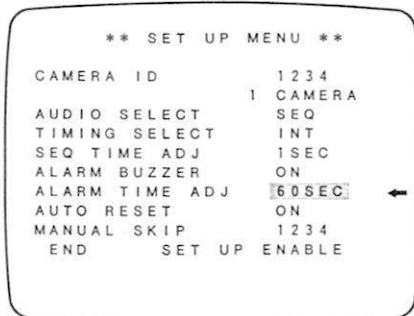
### ■アラーム音の入/切(ALARM BUZZER)

- カーソルを“ALARM BUZZER”の位置に移動し、左方向スイッチ(◀)と右方向スイッチ(▶)で入(ON)、切(OFF)を選択します。
- “ON”を選択するとアラーム動作になったとき、ブザー音を発します。またアラーム動作になってもブザー音を出さない場合は“OFF”を選択します。



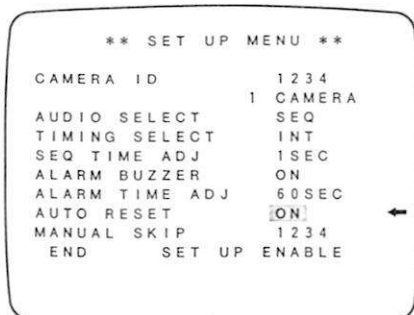
### ■アラーム時間の選択(ALARM TIME ADJ)

- カーソルを“ALARM TIME ADJ”の位置に移動し、左方向スイッチ(◀)と右方向スイッチ(▶)でアラームブザーの鳴る時間を選択します。
- アラーム時間は約1,5,10,20,30,40,50,60秒から選択できます。



### ■自動復帰の入/切(AUTO RESET)

- カーソルを“AUTO RESET”の位置に移動し、左方向スイッチ(◀)と右方向スイッチ(▶)で入(ON)、切(OFF)を選択します。
- “ON”を選択すると、センサー入力後約60秒で自動切換に復帰します。



## 設定手順

### ■ マニュアルスキップの設定(MANUAL SKIP)

自動切換時、カメラが接続されていないチャンネルだけでなく、接続されているチャンネルをスキップ(飛びこし)することができます。

- カーソルを“MANUAL SKIP”の位置に移動し、左方向スイッチ(◀)・右方向スイッチ(▶)で設定するカメラを選択します。(このときカメラが接続されているチャンネルにのみ設定できるようになっています。)

また、設定スイッチでマニュアルスキップ ON (カメラID 1,2,3,4表示)、OFF (●:表示)を切り換えます。



## 別売品のご紹介

カメラ増設アダプター .....WV-AD110  
専用白黒テルックカメラ .....WV-BP70  
WV-BL90

## 故障と思われましたら

調べてもなお異常のあるときは、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。

症 状	調べるところ
映像が出ない。	<ul style="list-style-type: none"><li>●電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていますか?</li><li>●テレビカメラのレンズキャップをはずしていますか?</li><li>●同軸ケーブルは正しく接続されていますか?</li><li>●モード切換スイッチが「スタンバイ」になっていませんか?</li></ul>
	お願い <ul style="list-style-type: none"><li>・ビデオ受像機の電源が「入」のままテレビカメラを接続しても映りません。電源を「切」にしてから接続してください。</li><li>・電源を「切」にした後、再度電源を「入」にするときは、約3秒以上時間をおいてください。電源を「切」にした後すぐ「入」にするとカメラ映像が映らないことがあります。</li></ul>
自動切換ができない。	<ul style="list-style-type: none"><li>●インターホン/センサー入力の接続は正しいですか?</li><li>●切換タイミングの設定/接続は正しいですか?</li></ul> 設定メニュー/接続のしかたを確認してください。

# 接続の前に

- インターホンやセンサーあるいはアラーム（警報）機器を接続する前に必ずインターホンなどの動作電圧、ACかDC、極性を確認してください。（22、23ページ参照）

# 接続のしかた

## カメラの接続

同軸ケーブルで接続します。

同軸ケーブル	延長距離
3C-2V	約200 m以下
5C-2V	約500 m以下

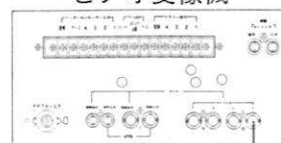
- 同軸ケーブルの抵抗値は、20Ω以下としてください。

テレビカメラ



同軸ケーブル

ビデオ受像機



カメラ入力 BNCプラグ  
(カメラに付属)

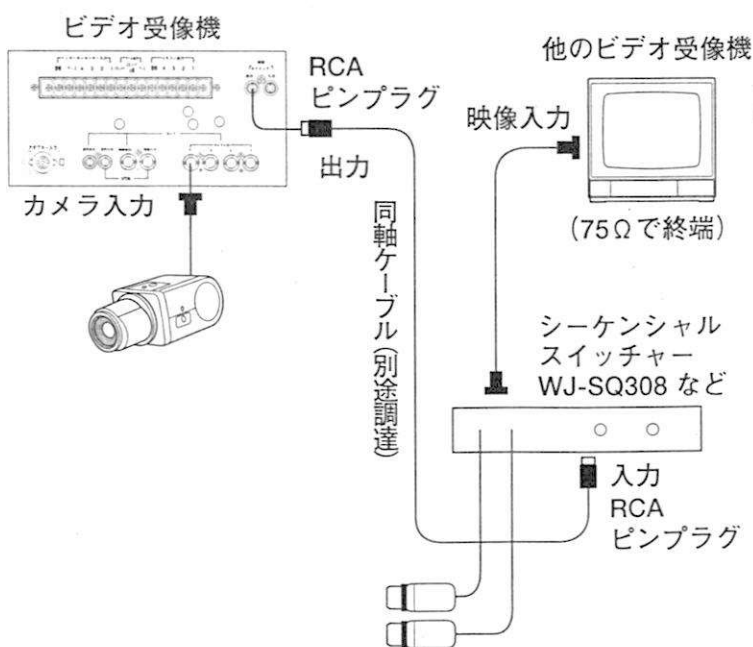
### 重要

1. カメラを接続するときは必ずビデオ受像機の電源を切ってから接続してください。電源を入れたままカメラを接続しても誤接続保護回路が働いてカメラは動作しません。
2. カメラはテルック専用カメラをお使いください。それ以外のカメラを接続しても正常には動作しません。
3. カメラを1台も接続していない場合、画面に不安定な映像が出ますが、故障ではありません。

## 他のカメラシステムの組み合わせ

シーケンシャルスイッチャーを使ったカメラシステムと組み合わせて切換タイミングを合わせることができます。

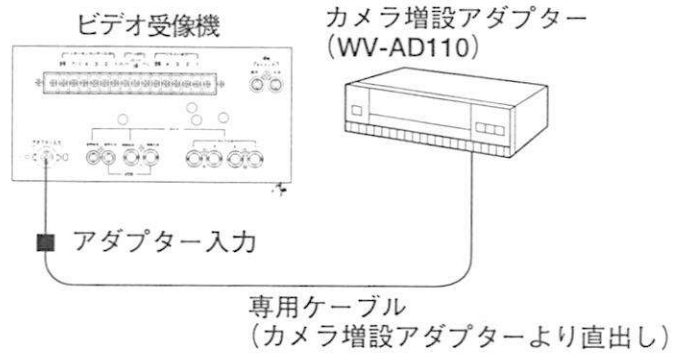
- 設定メニューでの設定  
切換タイミング：内部（INT）に設定してください。
- シーケンシャルスイッチャー側の設定  
シーケンシャルスイッチャーの切換時間を外部にしてください。



# 接続のしかた

## テレビカメラの増設

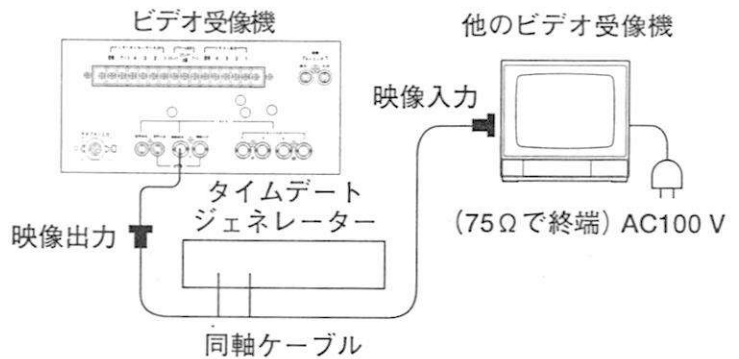
テレビカメラを増設するときは、別売のカメラ増設アダプタ (WV-AD110) を使って接続します。



## 増設のビデオ受像機の接続

### ●他の場所でモニターする場合

ビデオ受像機の映像出力を、同軸ケーブルで、増設する他のビデオ受像機の映像入力に接続します。  
タイムデートジェネレーターなどを途中に入れることもできます。

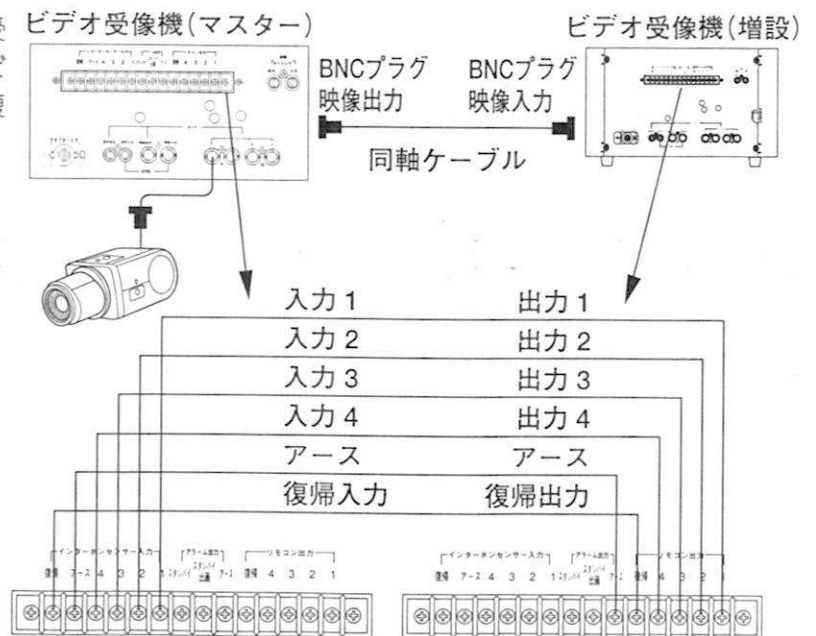


### ●他の場所で遠隔操作する場合

ビデオ受像機を増設するときは増設用ビデオ受像機のリモコン出力と復帰出力をマスター側ビデオ受像機のインターホン/センサー入力と復帰入力に接続します。

#### ●設定メニューでの設定

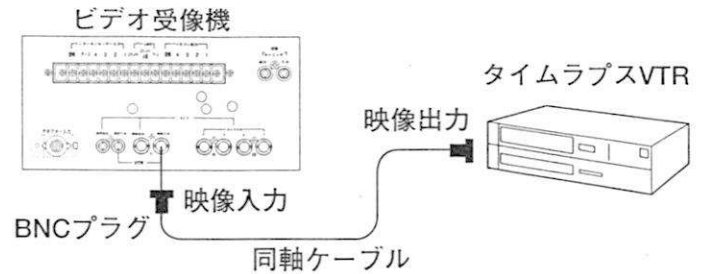
切換タイミング：内部 (INT) に設定してください。



# 接続のしかた

## 再生用モニターとして使用する時の接続

VTRの映像出力を同軸ケーブルでビデオ受像機の映像入力に接続します。

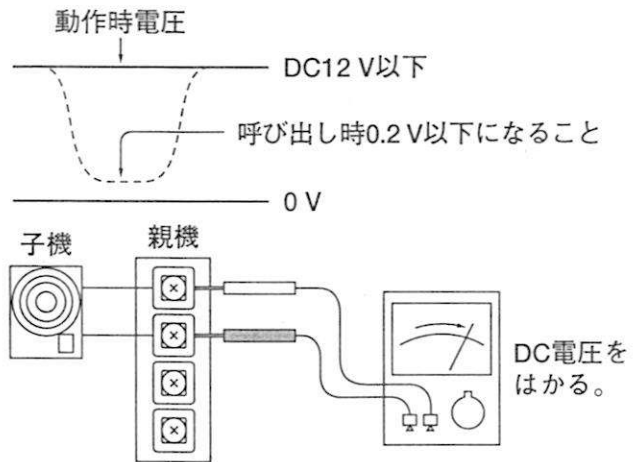


## インターホンやセンサーとの接続

### ●インターホンやセンサーの条件

接続できるインターホンやセンサーには条件があります。

1. 動作電圧がDC 12V以下であること。  
(AC電源で動作するものは使えません。)
  2. インターホンの子機やセンサーが動作したとき子機とのラインの電圧が0~0.2Vになること。
  3. 2線式のものに限りです。
- 具体的には、子機との接続端子をテスターで測定して電圧、極性をたしかめてから接続してください。



### ●推奨インターホン (別売品)※

方式	子機	親機
ブレストーク式	VN-508A、588	VN-483A、482A
同時通話式	VL-568KA、568R VK-507D	VL-467LK、468L、VK-411A、413A その他電子チャイミーシリーズ 1-1タイプのみ

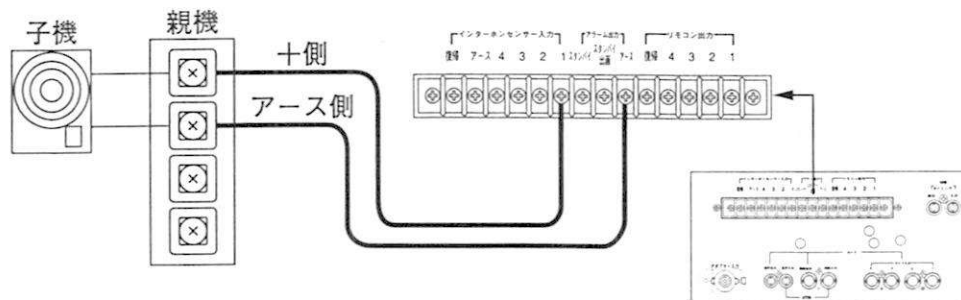
### ●チャイム (松下電工製)※

〈DCチャイムシリーズ〉  
EB147シリーズ  
EB157シリーズ

### ●防犯ドアスイッチ (松下電工製)※

〈防犯ドアスイッチON形シリーズ〉  
※品番は、1997年6月現在のものです。

### ●接続のしかた



インターホンの親機とビデオ受像機間の接続は必ず極性を確かめてから行ってください。

## アラーム接続

本機には条件によって2つのアラーム出力端子があります。

1. 映像スタンバイ時に外部から信号が入ったとき動作する端子 (スタンバイ)。
2. 映像スタンバイ時、出画にかかわらず、外部から信号が入ったとき動作する端子 (スタンバイ出画)。

### ●推奨チャイム (松下電工製)※

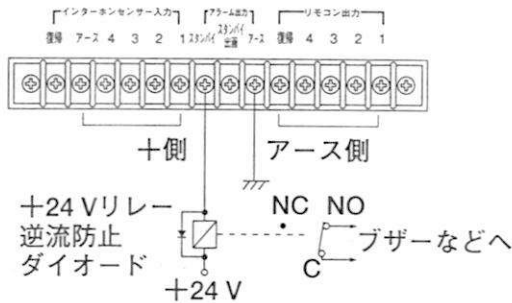
#### 電子チャイム

メロディサインEC5117 (メロディ)  
メロディサインEC5227 (メロディ、ピンポン)  
メロディサインEC5347 (メロディ、ピンポン、ファミリー)

※品番は、1997年6月現在のものです。

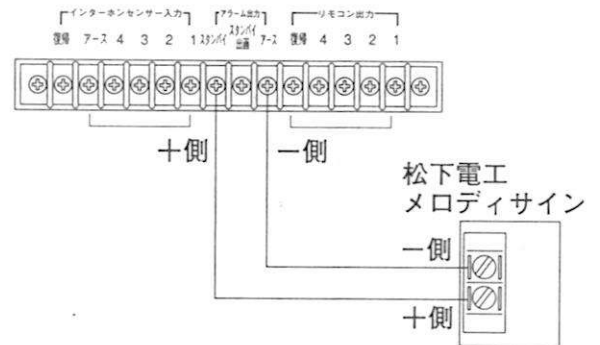
接続は下記のようにしてください。アラーム出力にも極性があります。極性を確認してください。アラーム出力の接点容量はDC24 V 100 mA以下です。

### ●直接動作させられないとき (動作が接点容量をこえるとき)



ブザーなどの起動スイッチに流れる電流がDC24 V、100 mAを超える場合はアラーム出力端子で直接動作させることはできません。リレーなどを使ってブザーを鳴らしてください。

### ●直接動作させるとき (接点容量内で動作するとき)



## 自動復帰について

●本機にはインターホンやセンサーを入力後約60秒後で自動復帰する回路が内蔵されています。

※設定メニューの自動復帰入/切 (AUTO RESET) を入 (ON) にします。

各入力での自動復帰の動作は次のようになります。

1. センサー使用のとき
  - ➔センサー入力によりカメラ選択し、約60秒後に自動切換に復帰します。
2. インターホン使用のとき
  - a. 通話中のとき
    - ➔インターホン入力によりカメラ選択し、通話中は保持され続けます。また通話を終了し受話器を置くと同時に自動切換に復帰します。
  - b. 呼び出し動作のみのとき
    - ➔インターホン入力によりカメラ選択し、約60秒後に自動切換に復帰します。
3. タイムラプスVTRの使用のとき
  - ➔インターホン/センサー入力によりカメラ選択し、その後自動切換に復帰します。





## 重要

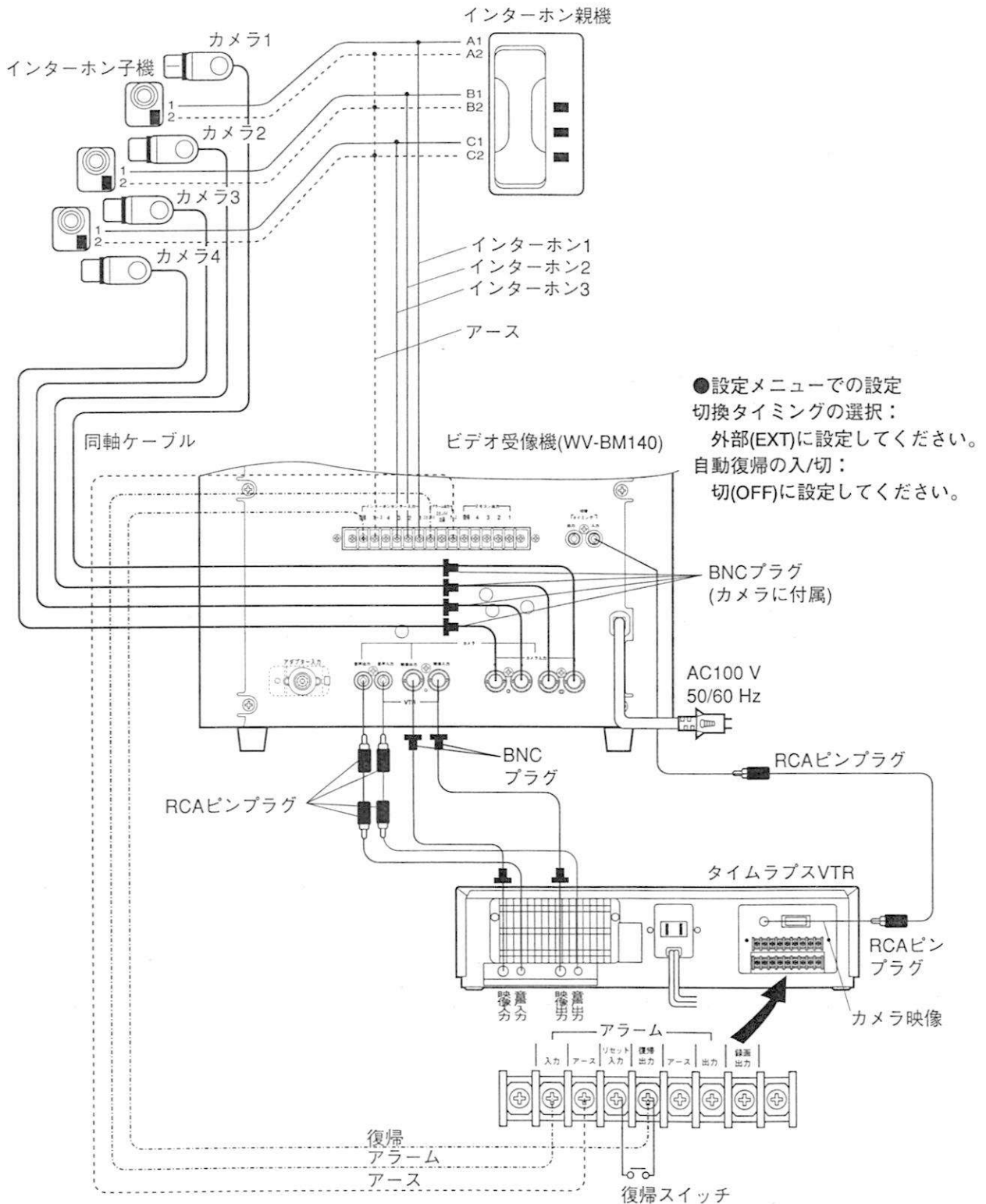
1. タイムデートジェネレータは入れなくてもかまいません。
2. タイムラプスVTRと組み合わせ、さらに外部ブザーなどのアラーム出力を出すときは、タイムラプスVTRのアラーム出力を使用してください。くわしくは、タイムラプスVTRの取扱説明書をご参照ください。
3. 映像切換スイッチ（ビデオ受像機前面）の位置は次の通り決定します。

VTRの モード	スイッチの位置	
	ビデオ受像機A	ビデオ受像機B
録画	カメラ	VTR入力
再生	VTR入力	VTR入力

4. ビデオ受像機Bへのカメラの接続はできません。
5. ビデオ受像機Aからはビデオ受像機Bを自動切換モードに復帰させることはできません。
6. タイムラプスVTRへの録音については、記録不可能な場合があります。  
くわしくは、タイムラプスVTRの取扱説明書をご参照ください。

# システム接続例

## ■タイムラプスVTRと組み合わせる場合



### 重要

1. タイムラプスVTRと組み合わせ、さらに外部ブザーなどのアラーム出力を出すときは、タイムラプスVTRのアラーム出力を使用してください。  
くわしくは、タイムラプスVTRの取扱説明書をご参照ください。
2. タイムラプスVTRの録音については記録不可能な場合があります。くわしくは、タイムラプスVTRの取扱説明書をご参照ください。

# 仕様

## ●基本仕様

電源	AC 100 V 50/60 Hz
消費電力	約50 W (カメラ4台使用時)
CRT	90° 偏向 14形対角
画面サイズ	281(H)X210.5(V) mm
周囲温度	-10°C~+50°C
寸法	320(幅)X310(高さ)X328(奥行) mm ※高さはゴム足含まず。奥行は突起部含まず。
質量	約10 kg

## ●入出力部

カメラ入力 *1	VS1.0 V[p-p]/75ΩX4 (BNC接栓)
映像入力	VS1.0 V[p-p]/75ΩX1 (BNC接栓)
映像出力	VS1.0 V[p-p]/75ΩX1 (BNC接栓)
カメラ電源供給方式	定電流重畳伝送方式
映像切換	自動/手動切換
自動切換時間	約1,2,3,4,5,6,7,8,9,10,15,20,25,30秒(設定メニューで選択可能)
スキップ機能	オートスキップ
自動復帰機能	センサー入力後約60秒で自動切換に復帰 (設定メニューで自動復帰ON/OFF選択可能)
解像度	1000本以上(水平、中心部にて)
偏向直線性	水平:5%以下、垂直:5%以下
偏向ひずみ	2%以下
水平走査周波数	15.734 kHz
垂直走査周波数	59.94 Hz
音声入力	-8 dB/Hi-Z (ピンジャック)
音声出力	-10 dB/100Ω (ピンジャック)
スピーカー出力	0.5 W
インターホン/センサー入力	4回路(1回路/1カメラ) 無電圧メイク接点(DC 12 V未満)
アラーム出力	スタンバイ/出画時出力:1回路 オープンコレクタ(DC24 V 100 mA未満) スタンバイ時出力:1回路 オープンコレクタ(DC24 V 100 mA未満)
アラーム時間	約1,5,10,20,30,40,50,60秒(設定メニューで選択可能)
増設アダプター入力	12ピンコネクタ
カメラ延長距離	最大500 m (5C-2V使用時)

\*1 カメラ入力に専用カメラ以外を接続すると、一部機能が正常に動作しません。

## ●仕上げ

エスカッション	AVアイボリー色樹脂製 (マンセル7.9Y6.8/0.8近似色)
カバー	AVアイボリー色 (マンセル7.9Y6.8/0.8近似色)

# 保証とアフターサービス (よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は・・・  
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

## ■保証書(別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。  
よくお読みのあと保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

## ■修理を依頼されるとき

まず電源を切ってから、お買い上げの販売店へご連絡ください。

### ●保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

### ●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。  
ただし、ビデオ受像機の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後7年です。  
注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

### ●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

**技術料** は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

**部品代** は、修理に使用した部品および補助材料代です。

**出張料** は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

便利メモ (おぼえのため、記入されると便利です。)

お 買 上 げ 年 月 日	年	月	日	品 番	WV-BM140
販 売 店 名				☎ ( )	—

松下電器産業株式会社  
松下通信工業株式会社 AVシステム事業部  
〒224-8539 横浜市都筑区佐江戸町600 ☎(045)932-1231(大代表)

N0697-0

V8QA4542AN